

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (中国)		乗用車販売店（店長）	来客数の動き	・決算期であり月上旬から客の動きが良く、新車、サービス共に数値を達成し、来客数は前年の110%である。
		一般レストラン（外食事業担当）	来客数の動き	・周囲に競合店が増えて飲食店の密度が高まったことで商圏の集客力が強まっている。特にランチタイムは前年比2けたの伸びが続き、21時以降の来客数は減少傾向であるものの、ディナータイムも予約が前年並みに確保できている。全体売上は伸びているとともに、週末昼間のシニア客のアルコールを含む飲食の利用が増えている。
		競艇場（企画営業担当）	販売量の動き	・今月下旬に開催するレースで十分な売上を確保できる。
		一般小売店〔茶〕（経営者）	販売量の動き	・当地のイベントである不昧公200年祭により、当店の景気が良くなっている。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	お客様の様子	・3月は年度末であるが、役員異動や会社設立の特需が少ない。
		一般小売店〔洋服裁附属品〕（経営者）	来客数の動き	・春になり人通りが増えている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・例年3月に比べて暖かい日が続いたため春物商材の動きが良く、春先には動きの鈍い紳士衣料も好調である。
		百貨店（人事担当）	来客数の動き	・半期に一度の大型物産展を開催しているので来客数が増加している。また、新規フェアの反応も良い。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・食品イベントを開催し、売上と来客数が前年をクリアしている。衣料品関係は春物の動きが活発で、単価の高いコートやジャケットの売上が前年を上回っており、景気が良くなっている。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・売上は前年を割っているものの、客単価が上昇しているため客の財布のひもは緩み始めている。
		家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・ピークに入るのが半月くらい遅いが、新生活関連の客単価が上昇している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・販売数が増加しているため景気は上向いている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・決算期なので動きが良い。
		乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・点検整備の客で大変にぎわっており、残業で業務をこなしている状態である。
		その他専門店〔土産物〕（経営者）	お客様の様子	・3月上旬は客に活気がなく、売上も前年を下回っていたが、下旬の暖かい日には客の様子も明るく、レストランやテイクアウトコーナーのベンチを利用してくつろいだり、買物を楽しんだりする姿も見られる。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（管理担当）	お客様の様子	・ウィンタースポーツ関係やアパレル商材の動きは悪く、なかなか前年を超える売上を出せないものの、飲食やアミューズメント系の分野は好調で、消費は物品よりも外出などに向かっている。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・前年と比べて来客数は増加している。インバウンドも好調で、特に予約以外の来店が前年に比べ目立っている。送別会も前年の実績を上回る状況である。
		観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・ビジネス客、インバウンド客の増加で来客数は増加している。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3～4月は歓送迎会シーズンに入り、前年より来客数が増加している。
		都市型ホテル（企画担当）	単価の動き	・海外客の予約の伸びが前年同期よりも高く、単価も上昇してきている。
	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・政府が行う経済政策の効果はあまり出ていないが、個々の努力と企業の地道な経営で、景気が多少良くなってきている。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・天候が回復して気温が上昇していることから、歓送迎会なども盛んなため景気が良い。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・年度末で客の動きが活発になっている。	
	通信会社（総務担当）	販売量の動き	・年度替わりの時期で、放送サービスや通信サービスの新規加入件数が増加している。	
	通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客から景気の良い話が聞かれる。	
	通信会社（販売企画担当）	販売量の動き	・来客数が想定より多い。	

テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・暖かい日が続き、週末を中心に客の動きが活発になっている。国内旅行の動きやインパウンドの動きも活発になっている。
テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・天候の良い日が続き、園内の花も順調に開花し始めて、少しずつ来客数が増えている。
住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・消費税の引上げまで1年となったことから、駆け込み購入に向けた客の動きが積極的になっている。特に、土地購入からの第1次取得者層にその動きが顕著にみられる。
商店街(理事)	来客数の動き	・3月は季節の変わり目で購買需要が高いが、気温によって客足が悪くなる。
商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街への人の流れが悪く、来客数が減少している。また、客単価が低下しており客の財布のひもは固い。
商店街(代表者)	お客様の様子	・ほとんどの客が必要な商品しか購入しない。
一般小売店 [靴](経営者)	来客数の動き	・2月より売上が低下している。
百貨店(経理担当)	販売量の動き	・化粧品、美術催事、食品催事は好調で売上が前年を上回っているが、不調な部門も多く全体売上は前年を下回る。
百貨店(広報担当)	お客様の様子	・3か月前と比べて客の購買動向が変わった様子はなく、欲しいものだけを買う姿勢が続いている。
百貨店(営業担当)	販売量の動き	・常にイベントを開催して前年予算をクリアしている。卒業式や入学式の服の一括購入は少なく、日常でも着回しが可能な商品を購入する客がほとんどである。
百貨店(販売促進担当)	お客様の様子	・3月上旬から気温が20度を超えるなど、早くから初夏の様相が強まり、この気温差も要因となって、婦人、紳士の春衣料が低迷し、特に新卒入学に向けたフォーマル用途の強い商品群の苦戦が目立つ。客単価が低下するとともに、着用回数の少ない商品は購入しない厳しい客の消費姿勢がうかがえる。また、宝飾品や美術品などの高額商品の動きも上向いてこない。
百貨店(売場担当)	お客様の様子	・今まで好調であった食品関連や物産催事の業績が厳しくなっているが、化粧品の販売量は引き続き伸びている。
百貨店(売場担当)	お客様の様子	・3月上旬はコートや手袋、雨傘の動きが良く、UV関連の動きが鈍かった。中旬から気温が上がってミセス衣料の動きが良くなって持ち直したが、上旬のマイナス幅が大きく、前年売上実績をやや下回っている。
スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数は前年の98.5%で推移している。
スーパー(店長)	来客数の動き	・客単価に変化はない。
スーパー(店長)	来客数の動き	・野菜価格の低下などプラス要因はあるものの、来客数は前月からほぼ横ばいで推移している。
スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数が伸びない状況が続いており、今後上向きになる兆しはない。
スーパー(総務担当)	来客数の動き	・来客数に変化はない。
スーパー(販売担当)	販売量の動き	・衣料品部門では、寒さが厳しかった2月に冬物商材の動きが良かったので、セール商材が不足し売上が鈍化している。
スーパー(管理担当)	来客数の動き	・客単価は維持できているが、来客数が横ばいで売上増加につながらない。
スーパー(販売担当)	お客様の様子	・今年は気温が低いので春物の動きが鈍いが、ポイントアップセールやタイムセールをすれば売上は確保できているので、2～3月の売上は前年をクリアしている。
コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・来客数の伸びに鈍化傾向がみられる。
コンビニ(副地域ブロック長)	来客数の動き	・今年に入り、早朝から昼間にかけての来客数が減少している。競合するスーパーやドラッグストア付近の店舗への影響は顕著である。
衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・景気の良い話を聞かない。
衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・スーツの集客は悪く、売上も伸びない。

家電量販店（店長）	お客様の様子	・もうかっている人や年金暮らしの高齢者など所得の分化が進んでいる。当店の客層は高齢者の比率が高いので、好景気の恩恵を受けにくい状況である。
家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数に変化はなく、単価も上昇しないので前年より厳しい状況である。
家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年の90%で売上も低迷している。
乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・3月の販売台数は前年と変わらない状況である。
乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・決算セールを実施しても来客数が今一つ伸びない。
その他専門店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・販売チャネルの増加により、特にインターネットでの購入が増えている。景気の問題だけではなく、人口減少や都市部への消費集中などが地方の景気を上向かせない原因である。
その他専門店〔布地〕（経営者）	お客様の様子	・春が近くなり、少しは活気が出ているが、客は必要な商品以外は購入しない。
その他専門店〔和菓子〕（経営者）	単価の動き	・来客数は増加しているものの、客単価が低下している。
その他小売〔ショッピングセンター〕（所長）	来客数の動き	・4月末の改装リニューアルに向けて、3月末までに15店舗、4月末までに21店舗がオープン予定である。現在は設備や施設改善も途中段階なので、閉店セールで盛り上がりはしているが、工事面積分の来客数は減少している。
高級レストラン（宴会サービス担当）	来客数の動き	・来客数に大きな変化はない。
一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・当地では好景気の実感がなく、賃金も上昇せず、客の様子に変化はない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・当業界の景気はまだまだ良くはなっていない。
都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・婚礼を含めた前年の宴会需要と比べて今年は良くない。春に向けて祝い事など個人客の動きは活発になっているものの、景況感は乏しい。ガソリン価格の高騰も落ち着いているが、4月からの食料品等の値上げが家計に影響して景気回復には期待が持てない。
都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・ビジネス客層は堅調に推移しているものの、国内の観光客とインバウンドの動向は前年並みで伸び悩んでいる。
旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・春休みは繁忙期であるが、前年と比べて販売量が減少している。
タクシー運転手	単価の動き	・短距離利用の客が多い。
通信会社（総務担当）	それ以外	・季節的な変動要素はあるものの、前年度と比較して景気が向上する要素は少ない。
通信会社（企画担当）	お客様の様子	・3月になっても寒さが続き、降雪の多さから客足はまだ鈍い。
テーマパーク（管理担当）	来客数の動き	・前年同月と比べて来客数や商品販売高に変化はない。
ゴルフ場（営業担当）	お客様の様子	・3月上旬までは客の動きが良くなかったが、下旬に入って例年より暖かい日が続いているため、徐々に予約が伸びている。
美容室（経営者）	お客様の様子	・給料が上がったとの話もなく、客の様子に変化はない。
設計事務所（経営者）	お客様の様子	・景気の浮揚感はなく、地方の衰退が進んでいる。
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・景気は上向いているとの報道にもかかわらず、個人客からの引き合いの減少は1年にもわたっている。
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・来客数の伸びは鈍いが、意欲のある客の割合が高く、2極化している。
設計事務所（経営者）	来客数の動き	・官庁の仕事は年度末で終了し、相変わらず民間からの仕事依頼が少なく、来客数も増えない。
商店街（代表者）	お客様の様子	・卒入学、就職など人生の節目の月なので、身の回りの景気は多少なりとも上向いているが、客の買い控えがある。
商店街（代表者）	単価の動き	・春は入園や入学需要があるが、年々減少している。
商店街（代表者）	来客数の動き	・3月に入り悪天候が続き、観光客数が例年よりかなり少なく、年度末需要もそれほど上昇していない。

	一般小売店〔食品〕(経営者)	来客数の動き	・来客数の減少が激しく、客単価の減少も著しい。
	一般小売店〔眼鏡〕(経営者)	販売量の動き	・全国小売店の売上低下により、取引メーカーの卸販売量が低迷している。
	百貨店(売場担当)	販売量の動き	・100万円以上の美術品や高級時計が売れているが、総売上はそれほどでもないで油断はできない。
	スーパー(財務担当)	来客数の動き	・天候の影響や客の来店頻度の低下で、来客数と売上が前年を割っている。
	コンビニ(支店長)	来客数の動き	・来客数の減少が続いている。
	自動車備品販売店(経営者)	販売量の動き	・2～3月の販売量が前年割れで、自動車業界に良い話はない。
	一般レストラン(経営者)	単価の動き	・人の動きはあるものの、客単価が低下している。
	その他飲食〔サービスエリア内レストラン〕(店長)	販売量の動き	・客の購入点数が減少している。
	通信会社(広報担当)	単価の動き	・客は単価の安いものだけを求めている。
	美容室(経営者)	お客様の様子	・駅前に人が流れてしまい、来客数が減少して売上も低下している。
	住宅販売会社(営業担当)	販売量の動き	・例年引き渡し物件が多い時期なので、3～4月に着工の物件は少ない。
	x コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・店の前を通る車が減少し、競合店もできたので来客数が15%程度減少し、売上も低下している。
	x 住関連専門店(営業担当)	来客数の動き	・3～4月は新生活需要が高まるはずであるが、来客数が伸びない。
企業 動向 関連 (中国)	輸送用機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・取引先の操業が順調で、当社も多忙である。
	不動産業(総務担当)	それ以外	・来客数は微増であるが、成約件数は約10%増加している。
	繊維工業(監査担当)	受注量や販売量の動き	・実需時期になり最盛期を迎えているなかで、問屋段階への売上は前年並みであるが、消費者により近い支店や営業所の売上が前年比で大幅に増加している。
	化学工業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・取引先の生産量増加に伴い、必要数量の確保を優先する動きに後押しされて値上げ交渉もほぼ整い、主力原料である苛性ソーダの単価を4月1日から20円増額とすることで決着している。
	窯業・土石製品製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・従来どおりの輸入ができず、国産品で対応しているため生産が非常に多忙な状態である。
	非鉄金属製造業(業務担当)	受注量や販売量の動き	・電子材料向けの製品出荷がおおむね好調を維持している。
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注機会が増加し、受注量が増えている。
	輸送業(支店長)	受注量や販売量の動き	・外部戦力や臨時戦力の集まりが悪いため、引越しや家財などの受注を断る状況が発生していることから、引越し荷物を小口に分けて宅配便で配送する人も多い。
	輸送業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・海運、倉庫関係を中心に需要が伸びてきている。
	広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・4月から新年度を迎えるなかでの販売促進が拡大しており、客からの受注量が上向きに推移している。
	農林水産業(従業員)	受注量や販売量の動き	・しけが続いて入荷量はかなり減っているが、客側の買入単価が上がらず、また、購入量もそれほど必要とされていない模様である。
	食料品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・3月は棚替えの時期であり、受注量の変動で季節商材の販売量に大きな影響が出るので売上は厳しい状況である。
	食料品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・百貨店やスーパーへの販売量が増えている。
	化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・一般的に製品の出荷が好調である。
	鉄鋼業(総務担当)	取引先の様子	・前月以前は活動水準が堅調で多忙な話しかなかったが、ここ1か月は踊り場的な状況で思ったほどの荷動きがない。
	鉄鋼業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・引き続き高い量の受注引き合いがある。

	金属製品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・得意先が負荷オーバーのため生産依頼がある一方で、別の得意先からの受注量は伸びず、同じ業界でも企業によって差があるが、当社にとっては総じてこれまでと同水準で推移している。
	輸送用機械器具製造業(経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・新製品の販売量が好調であり、受注量も高水準を保っている。
	建設業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・好況が継続しているが、鋼材や外装材等の資機材で価格の上昇があり、納期にも時間が掛かる状況である。
	輸送業(総務担当)	取引先の様子	・客からの受注量等に変化はない。
	通信業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・通信機器やネットワークに見直しなどの設備更改需要に変化はなく、年度末の駆け込み需要はあるものの、例年と比較しても変動はない。
	通信業(営業企画担当)	受注量や販売量の動き	・地元企業の情報通信に関する設備投資に対しては、情報系商品、通信系サービス共に大きな増減のない受注量となり、前年度と比較して横ばいとなっている。
	金融業(融資企画担当)	取引先の様子	・大手自動車メーカーの新型スポーツ用多目的車の販売が海外で好調に推移し、地元部品メーカーの受注量は高水準を維持している。操業は定時では終わらず、残業時間は増加傾向となっている。
	金融業(貸付担当)	受注量や販売量の動き	・公共工事請負金額や乗用車新車販売台数は前年比マイナスの状態である。
	木材木製品製造業(経理担当)	受注量や販売量の動き	・業界全体で新設住宅着工戸数や受注量と販売量が前年同期と比べ減少傾向である。低金利政策による住宅ローン金利も一段落して効果が薄れている。
	電気機械器具製造業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・一部製品の生産減少、製造装置部品の仕入コスト、人件費増による製造コストの上昇が見込まれ、為替動向も不安定なので注視が必要な状況である。
	その他製造業 [スポーツ用品](総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注の見通しが良くない。
	x	-	-
雇用 関連 (中国)	求人情報誌製作会社(経営者)	求人数の動き	・3か月前あるいは前月と比べても求人数が大きく伸びており、正社員募集、パートアルバイト募集共に新年度に向けて求人活動が活発となっている。
	人材派遣会社(支社長)	求人数の動き	・欠員補充というよりも増員のための求人が増えている。
	求人情報誌製作会社(営業担当)	求人数の動き	・人手不足感はあるが、採用予定数を上方修正する企業がある。
	新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き	・大手自動車メーカーの稼働率が改善されるとともに、鉄鋼の増産傾向もみられ、有効求人倍率は2か月連続で上昇しており、企業の採用意欲は高い。
	職業安定所(雇用開発担当)	求職者数の動き	・有効求職者数は4か月連続で減少し、新規求職者もここ半年間は減少傾向で、特に2月はマイナス7.7%と今年度最大の減少である。
	民間職業紹介機関(職員)	採用者数の動き	・新工場の設立に伴う人員の増員と本社管理部門強化のための増員、また、新しい業界との取引拡大のための品質管理手法導入のための増員など、いずれも積極採用が見受けられる。
	人材派遣会社(経営企画担当)	求人数の動き	・有効求人倍率は高水準を維持している。
	人材派遣会社(支店長)	周辺企業の様子	・人手不足に変わりはないが、条件を工夫した求人も応募が少なく、成長の妨げになっている。
	求人情報誌製作会社(広告担当)	採用者数の動き	・就職者の多い卸売業と小売業の採用者数に大きな変化はなく、採用人数が増加した医療福祉では企業によって予算が増加しているが、就職者数を減らしている金融保険業の予算は横ばいである。全体的に就職者数が増加するなかでも産業によって予算増減には違いがあるものの、平均すると変わらない状況である。
	職業安定所(所長)	求人数の動き	・新規求人数は、好調な自動車部品や教育用タブレット部品製造を含む製造業、介護職や保育士の増員募集の目立つ医療福祉など幅広い業種で増加傾向が続いていることから、前年同月と比べると求人全体で1割増となっている。

	職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・新規求職者数は21%増加しており、特に在職者が増加している。年度末の3月末で退職する人が仕事探しを始めていることが一因である。
	民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求人数の動き	・人手不足にもかかわらず、求人数が増えていない。
	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・求人獲得数は前年度同時期と比較して同水準である。
	学校〔大学〕（就職支援担当）	採用者数の動き	・景気が上向きと判断できる要素が見当たらない。
	-	-	-
x	-	-	-